

事務事業名	環境活動市民参画促進事業	事務事業No.	731 - 8
-------	--------------	---------	---------

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民環境部	環境整備課	環境推進係	主事補	野中 あゆみ	課長	尾形 彰貞
施策体系	総合計画	政策	7	自然環境		
		施策	3	環境にやさしいまちづくり		
		基本事業	1	環境教育の充実		
	その他の計画	個別計画	第3次飯塚市環境基本計画			
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市環境基本条例、第3次飯塚市環境基本計画					
事業開始年度	令和4年	事業終了年度	未定	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	令和4年度～令和6年度	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

概要	広く市民の参加を募る市民ワークショップを開催し、環境課題や課題解決のための具体的取組について議論し、実行する機会を提供することにより、本市の環境施策の推進において市民参画によるマンパワーの確保、アイデアの創出を図るとともに、参加者が環境問題を「自分ごと」として考えるための意識を醸成し、市民が自発的に環境課題の解決に取り組むための土壌づくりを行う。					
対象	働きかける相手・もの	全市民				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	広く市民の参加を募り、環境に関するワークショップを実施することで、環境課題解決のための具体的取組について議論し、意見交換を行う。				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	市民に自発的に環境課題の解決に取り組む機会を提供することで、環境問題への意識の醸成を行う。				

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
いづか環境ワークショップ	回	いづか環境ワークショップの開催回数	4	4	4

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
いづか環境ワークショップ参加者数	人	80	80	80	80
説明	方向性	達成目標年度	実績	82	58
	増加	毎年度			
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

経費区分	一般会計	政策的経費	特別会計	-	
予算科目・事業	会計 1	一般会計	款 4	衛生費	
	大 99	その他の環境対策費	中 37	環境活動市民参画促進事業費【政策】	
				他 0 事業	
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	0.40 人 3,124	0.45 人 3,576	市報掲載に伴う印刷製本費の増加と投入人員増加のため	0.43 人 3,417
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	会計年度 1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.10 人 293
	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計(A)		3,124	3,576		
事業費	直接事業費(B)		10	44	109
	総事業費(A+B)		3,134	3,620	3,819
直接事業費のうち の主な歳出内訳	報償費		10	10	40
	印刷製本費		0	34	69
	使用料・手数料(受益者負担分)		0	0	0
財源内訳	国・県支出金		0	0	0
	市債		0	0	0
	一般財源		3,124	3,576	3,710
	その他(環境保全推進基金)		10	44	109

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	やや低い	第3次飯塚市環境基本計画における重点施策「教育・協働・連携の推進」に向け、本事業を全市民を対象として実施している。 類似の事業があり、参加者が分散されているため、費用対効果が低い。
効率性 評価	やや高い	県が実施している講師派遣事業等を活用し、講師派遣料を抑えることによるコスト削減や、飯塚市役所だけでなく市内交流センター等にて実施することで、参加者数の増加見込などに取り組んでいるため。
有効性 評価	やや低い	本事業により市民が自発的に環境課題の解決に取り組むための機会の提供やアイデア創出の補助を行い、第3次飯塚市環境基本計画における重点施策「教育・協働・連携の推進」に貢献できているが、参加者が少ないため効果が低いと考えられる。

7. 前年度評価時の計画と実績		
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★
評価区分	方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	市報等媒体における更なる周知の強化、ワークショップ実施会場の検討
		次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入		
市報や市ホームページ、市公式SNSなどの様々な媒体を用いて広報を行った。 実施会場については、飯塚市役所だけでなく、穂波交流センターや幸袋交流センターにて実施することで、地域住民の参加を促すことができた。		

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
〔成果〕	昨年度と同様に環境ワークショップを計4回開催することができた。昨年度と比べ参加者数は減少しているものの、実施回ごとに内容を変更し、参加者は環境学習や意見交換を行うことができた。
〔課題〕	本事業の認知度が低く、参加者数増加のため、様々な媒体を用いた更なる広報が必要である。

9. 今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	〔理〕 本事業は参加者の環境への意識醸成と意見交換の場の提供を目標としており、昨年度より事業内容に大きな変更もなく実施できているため現状維持とする。
現状維持	
コスト投入の方向性	〔理〕 県が実施している講師派遣事業等を活用し、講師派遣料を抑えることによるコスト削減を行っているが、現在それ以外の方法によるコスト削減は困難であるため現状維持とする。
現状維持	
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	類似事業との整理及び統合。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	-

評価変更理由	成果の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「成果の方向性」は廃止、「コスト投入の方向性」は縮小とする。 ・事業は廃止とするが、環境活動への意識の醸成は引き続き図ること。
	廃止	
	コスト投入の方向性	
	縮小	